

多摩のくらし～歳時記

～盆踊り～

盆踊りは、本来、年に一度この世に戻ってくる精霊を迎え、また送るための風習として盂蘭盆（うらぼん）の夜に人々が歌や音頭に合わせて踊ったのが始まりです。

近年、里帰りや暮らし方が変化し、早くは7月下旬から8月中、暑い夜を楽しむ各地のイベントとして親しまれています。

多摩区には約80数年前、多摩川音頭が誕生しました。作詞は北原白秋、作曲町田嘉章、振り付けは舞踊家の花柳徳次女史です。

一般的に音頭は観光地や三業地などで宣伝用に作ったものや、お座敷踊りのようなものが多かったのですが、多摩川音頭は青年団によって農村娯楽の目的で作られた新民謡だったようです。

青年団は昭和4年5月に北原白秋を自動車に乗せて、菅の土手から、中野島、登戸、枳形山、宿河原、堰の長池などを回り、車内では万葉歌碑をはじめ、多摩川梨や宿河原のモモ、飯室山の長者穴のことなどを話し、地域のことをよく説明したようです。翌昭和5年に北原白秋が作詞したのですが、31章にわたって多摩川べりの特長がよく歌い込まれています。

近年、区民祭では文化協会指導により式典前に流し踊りされているほか、若者向けにはロックソーラン調に変曲されてもいます。(川口キン)

～十三仏～

十三仏は亡者の死後供養（法事）を行う際のご本尊です。初七日から三十三回忌までの、十三回の追善供養はもとより、家運隆盛の願も込めて、ご先祖さまを手厚く供養して下さる仏様です。仏事はもちろん、お家の守護神として十三仏掛け軸としても祭られています(ごぶらん織など)。(川口キン)

▼ [十三仏] 一覧

① 初七日	不動明王
② 二十七日(十四日)	釈迦如来
③ 三十七日(二十一日)	文殊菩薩
④ 四十七日(二十八日)	普賢菩薩
⑤ 五十七日(三十五日)	地藏菩薩
⑥ 六十七日(四十二日)	弥勒菩薩
⑦ 七十七日(四十九日)	薬師如来
⑧ 百ヶ日	観音菩薩
⑨ 一周忌	勢至菩薩
⑩ 三年(三回忌)	阿弥陀如来
⑪ 七年(七回忌)	阿闍如来
⑫ 十三年(十三回忌)	大日如来
⑬ 三十三年(三十三回忌)	虚空蔵菩薩



たま今昔 区制が敷かれてから40年を経た多摩区の昔の姿を探ります

その① **生田**

昔

昭和32年ごろの生田駅付近の様子です。山裾に見える世田谷通りはまだ舗装されておらず、線路脇に今はない銭湯やゴルフ練習場があります(現在はスポーツクラブ)。写真の中の電車は箱根行きの小田急ロマンスカー(第3次1700系)です。当時は珍しい紅茶のシートサービスがあり、皆が乗りたいた憧れの電車だったそうです。

今

生田駅南側の山(五反田神社付近)から現在の生田大橋方面を望む

たまの顔 **多摩川梨**

昔

多摩区は梨の産地としても知られていますが、樋山智也(ひやまとしや・86歳)さんが経営する老舗梨園「まるや梨園」の場合、す取り扱う梨は16種類!!

今

でに梨の名産地であった大師河原村(現・川崎区)から船を使って梨の木を運び、植えたのが始まりです。大正7年のことですから、もう90年以上の歴史があります。

木を育てるのに10年。次の10年は木の性格を見極めながら、安定して収穫する方法を模索。やっと経営が始まるのは20年経ってからだそう。今では木と会話しながら毎日を楽しんでいます。

「多摩川梨のもぎとり」ポスター(昭和35年)【写真提供】JAセレサ

編集後記 まち協が3期目に入り、広報誌も新編集長の下でリニューアル! 区民の皆さまが思わず手に取りたくなる、楽しい誌面を目指します!(コンサル加藤)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】 〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
 電話 935-3148 FAX 935-3391
 メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2012年(平成24年)8月

36
号



多摩の風景

二ヶ領宿河原堰

二ヶ領用水の取水口って2カ所あるの?

山梨県の笠取山を源流にする全長138キロの多摩川ですが、多摩川の名前の由来には諸説あります。万葉集に詠まれている「多摩川」のほか、浮世絵には「玉川」の文字が見られますし、丹波山からとった「丹波川(たばがわ)」というものもあります。

写真は多摩川にある宿河原堰の現在の様子ですが、ここから二ヶ領用水のひとつが始まります。そしてもうひとつは、少し上流の上河原(中野島)にあります。この2つの用水は南武線の久地駅近くでひとつに合流し、さらに川崎市の全域を流れていきます。総延長は32キロ、もちろん神奈川県では最も古い人工用水です。

川崎市民の大事な生命線ともいえる二ヶ領用水は400年前に造られました。あの天下分け目の合戦・関ヶ原の戦いの前から工事は始まっています。命じたのは徳川家康で、実際に現場の責任を担ったのは用水奉行の小泉次大夫でした。事業は14年にも及びましたが、この完成によって農業、特に米の生産が飛躍的に伸びたそうです。現在はサクラの名所としても知られている二ヶ領用水ですが、いつ訪れてもきれいに整備されています。私たちの日常生活に完全に溶け込んでいる姿がうかがえます。



NPO法人 **多摩川エコミュージアム**



多摩川水系とその流域を含む地域を対象に、市民が生活する地域と環境そのものを生きた総合博物館として創造し、その優れた自然遺産と歴史・文化遺産を保全・継承して、誰もが憩い、楽しく学び、活動できる環境づくりに寄与する目的で、2002年にNPO法人化されました。

ホームページ URL <http://www.seseragikan.com/>

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っていることを、トピックス仕立てで紹介します！
もっと詳しい情報が知りたい方は、まち協のホームページをご覧ください！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

顔合わせワークショップ 記事 河崎



和やかな雰囲気で行われました

第1回目のワークショップは5月17日に、そして第2回目のワークショップは5月25日に開かれました。打ち解けた雰囲気の中、やる気満々の委員たちの顔が皆輝いているのが印象的でした。

第3期のまち協は、より一層盛り上がります！

研修企画部 記事 大津

今年度新たに設けられた研修企画部は、各プロジェクトの企画などが年間を通して計画性のある活動になるよう協議調整して、運営委員会に諮る役目を受け持ちます。今年度も「多摩★まち大学」を開講しますが、新たに「多摩★まち Café」を開催、これら学習の機会を通じて、市民活動団体が意見交換する場を提供してまいります。視察研修企画および諸活動調整役として取り組みます。



研修企画部・最初の会議

広報編集部 記事 河崎

まち協の広報誌「私たちのまちづくり」を年間4回発行するのが主な活動です。これまで35号が発行されましたが、新しいメンバーで最初に取り組んだのが今回の36号になります。基本4ページという限られた誌面ではありますが、先輩諸氏の魂を継承しつつ、「情報」という部分でパワーアップを狙いました。まち協の報告と並行して、多摩区のあらゆる情報をお伝えしていきますが、皆さんからの情報も随時募集していますので、「こんなことがあるけど?」と思ったら何でも教えてください。もちろんホームページとも連動していますので、こちらも可愛がってくださいね。

全体研修会 記事 辻野



SWOT分析の結果

多摩区まちづくり協議会では、第3期スタートに当たり「今後のまち協のあり方を探る」をテーマに全体研修会を実施しました。第1部では全員の現状認識の共有化、第2部ではSWOT分析という手法を使ってワークショップ形式の2部構成で研修しました。このマトリックスによる分析の結果から、まち協の強み、持ち味そして魅力が浮き彫りになり、全員でその存在意義を確認し合う貴重な研修会になりました。

超初級 IT 学習会II 記事 久野



専修大学学生による「超初級 IT 学習会II」

専修大学の学生4人が講師になり、「インターネットってどうやって操作するのか」「メールを送りたい、受け取りたい」などの基本的なことを学びました。参加者から“学生さんの講義を聞いてよかった”という感想をもらい、大変好評でした。

民家園通り商店会夏祭り 記事 古川

夏休み初日の7月21日に開催された夏祭りの会場の一角、多摩区観光推進協議会のテントで、「ふらっと」を開きました。自転車の荷台での街頭紙芝居や絵本の読み聞かせと「ドラえもん折り紙コーナー」を出しました。200体分の折り紙に、子どもたちの手で「目玉やおひげ」が書き込まれるとオリジナルのドラえもんができて上がり、笑顔と「ありがとう」の言葉が返ってきました。



ドラえもん折り紙コーナー



多摩エコスタイルプロジェクト (まち協・新プロジェクト) 記事 石郷岡

このたび、まちづくり協議会内の新プロジェクトとして、「多摩エコスタイルプロジェクト」を立ち上げました。多摩区は環境問題に取り組む仕組みづくりや、環境活動に参加する区民や活動団体が少ないといわれています。個々に活動している団体や個人、これから環境問題を考えようとしている方々の力を結集、環境活動をネットワーク化し、連携活動の場をつくりたいと思います。「多摩エコマップの作成」「1日1エコ運動展開」「学習会・講演会・ワークショップ・エコツアーなどの企画」「環境フォーラム」「出前講座」などの活動を計画しています。次世代へより良い環境を引き継ぐために、今からそのための仕組みづくりが必要です。

「エコスタイルがよく似合う町・多摩」にしましょう。皆さまの参加をお願いいたします。



メンバーが個々に所属している団体での活動経験を活かします！

平成24年度多摩区まちづくり協議会・総会 記事 本多

5月25日に平成24年度多摩区まちづくり協議会の総会が開かれ、第3期の会長に選ばれました。ご挨拶を申し上げます。

第1期では、プロジェクト制を導入し、第2期では、「多摩★まち大学」を開講し、ホームページを開設しました。第3期では、委員31人（公募19人、団体推薦12人）で、新しい取り組み（研修企画部、「多摩★まち Café」など）をはじめ、これまで以上に区民や活動団体の皆さまとの連携を図ります。2つのプロジェクト、「多摩の居場所ふらっと」（継続）、「多摩エコスタイルプロジェクト」（新規）とともに、多摩区の課題解決と中間支援業務に取り組んでいきたいと思います。

第3期も皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



多摩区まちづくり協議会
第3期会長 本多 正典



総会で新生まち協がスタートしました！

多摩の居場所ふらっと 記事 久野



季節の花めぐり Part IV

今年度は、多くの方が参加しやすいように多摩区内に幾つか拠点をづくり、そこを中心に子どもと大人と一緒に遊んだり、料理を作ったりして、世代間の交流を図ります。月1回開催の「ふらっと」やコミュニティサロンは、他団体などとともに楽しい企画を立て、協力し合ってこれまで以上に多様なイベントを実行していきたいと思います。



色ガラスをつけて陶板をつくらう！
～他団体との協力企画～